

十二月よみとりおけいこ①(低)

名まえ)

いよいよ十二月、一年のおしまいの月になりましたね。月日のたつのは早いものです。

十二月はべつの言い方では師走しわすといえます。師というのは先生やおぼうさんなど、なにかをまなぶときにおしえてくれる人のことですが、そういった、ふだんはどっしりとこしをおちつけてすわっているイメージの人でも走り回るほどいそがしい月ということですよ。

なぜそうよぶかというわけは、一つはおぼうさんからのものです。

「今年もお見まもりありがとうございます。らい年もよろしくおねがいします。」

といういみをこめて「せんぞさんや仏さまをおがむために、おぼうさんがたくさんの家からよばれて走り回った」ということです。

もう一つは御師おんしからのもの。御師というのはいせ神宮じんぐうなどに全国からおまいりの人をよびこんで宿やどのおせわをしたり、ご利益りやくをせつめいして広めたりする人のことです。一番ばんいそがしいのが十二月だったというのです。なにしろいせ神宮じんぐうなどの主な神社にはお正月にとつと人が初はつもうでに行きますからね。そういうお客さんの手配てはいをするのはその前にすることになるわけで、そうすると十二月がいそがしい、ということになるのです。

むかしは十二月が一年のしめくくりといういみが今よりもつよかったのです。お金をかりたらせつたいにその年の間にかえす、とかしごとをなにかたのまれたら、その年中にしあげる、とか。さてみなさんはお正月に「今年はいそがれをがんばろう」と思ったことができたでしょうか？ふりかえって来年につなげましょう。おんどくサイン！

① なんのはなしでしょうか？

() 十二月のぎょうじ () 師走というわけ

() 師とはだれのことか () 走る人

② 師とはふつうどういう人のことですか？

() ③ 師走のもとになった師はおもにどういう人のことですか？

() と () ④ なんのために年末におぼうさんがよばれたのですか？

() ⑤ むかしの人が十二月中にしたかったのは？

() () お金をかりること () かりたお金をかえすこと () 初もうで

⑥ 御師のいみをかきぬきましょう。

() ⑦ なぜ御師は十二月にいそがしいのですか？

() ⑧ ご利益のいみをしらべてみましょう。

() ⑨ あっているものに○をつけましょう。

() () 師走のことを「しそう」とよむ。

() () しめくくりをいしきすることは大切だ。

() () 今年のめあてができなくてもどうでもいい。

⑩ 上の文をよみ、おもったことを五行でまとめましょう。

できばえは？

